

## 鹿児島市及び連携中枢都市圏3市の市民活動団体のご紹介



荒田・下荒田のいわゆる騎射場エリアでは、年に1回、のきさき市というマーケットイベントが開催されている。近くには鹿児島大学があり、多くの大学生もボランティアとして実行委員会に関わるこのイベントには、1万人以上の人を訪れるのだという。この「のきさき市」を主催し、他にもキシャバル（騎射場の飲食店とのつながりをつくるバルイベント）やリノベーションスクールに携わるなど、鹿児島のみちづくりを支えている株式会社KISYABAREE（2019年4月設立）の須部貴之（すべ・たかゆき）さんに話を聞いた。

### 僕にしかできない、ハードとソフトを回し続けるまちづくり

主に人をつなげたり、一緒に学んだり、チームをつくったりするための場づくりが大きな活動です。市の事業を受託しての企画だったり、民間とコラボしたイベントの企画であったり。あとは講師業も年間通して依頼が来るので、それもこなしています。携わっている事業はそれぞれのターゲットも取り組んでいる内容もバラバラです。軸は、それが「人づくり」になるかどうか。地域活動をするうちに教育に携わりたいと思い始めました。これからの世の中に必要なものと、目の前の相手がやりたいことを紐解いてマッチングすることが楽しい。人を育てることが、まちづくりにおいて何よりの資源だと思っているので、人づくりは大きな軸ですね。その人づくりの場をどう組み立てるか。そしてその次にハード（遊休資産）をどう活かすかが大事です。

人にどうやって住んでいるまちの当事者意識を感じさせるにはどのようにマインドセットするのか。そしてハードとソフト（人づくり）の両輪をどう回し続けるか。それが自分のできるまちづくりであり、まちの活かし方、使い方です。おそらく今は僕にしかできないことだと思って取り組んでいます。

### 僕は引き継ぎ役なんです

「繋いで引き継ぐこと」、それが自分の役割で使命だと今は思っています。自分が今できることってなんだろうって考えた時に、それは人づくりやまちづくりを仕組み化して、引き継ぐことなのではないかと。その役割や使命をちゃんと担うことは大事にしています。

その背景には、自分自身の今まで生きてきた歴史があります。ディズニーや大手不動産会社で働いていたことや東京や福岡で働いてきた経験。鹿児島にUターンで帰って来て、まちに元気がないと感じたことがきっかけとなって、リノベーションスクール@北九州（第5回、第7回）に参加しました。そこで、まちの使い方を新しく再編集しないといけないんだなって気付かされました。全国のいろんな地域を視察して、いろんな活動している人がどの地域でも10年以上前からいて、「鹿児島はまだまだ」って気づいて、やり始めました。

将来、今やっていることを引き継いだあとは、これまで築いてきたコンテンツを海外に持って行きたいですね。鹿児島で様々な活動ができていているのは、須部貴之という人間を知ってくれている人が多いから。やはりつながりの中で仕事させてもらっています。それが海外に出た時に、どれくらい勝負できるのか、通用するのかしないのか、とても興味があります。テーマは「鹿児島、九州、世界」で、世界と騎射場を繋げていきたいですね。

## 思いを表現できる仲間の存在

私の強みは様々なところにコミュニティがあることです。不動産、まちづくり、リノベーション、DIY、のきさき市、青年会議所（シニア）など。そして、そこで繋がっている人たちが自分を表現できるエンターテイメントなコンテンツを持っていたり、そのコンテンツを発揮できる場を持っている人が多いこと。繋がっている人たちの多様さは、強みの1つですね。毎年いろんな人と会うので、そのつながりはアップデートされています。

## 海外でも通用するスキルを身につける

法人としてはまだ創業したばかりなので、どういう事業に取り組むか決めかねている部分もありますね。自分自身のスキルアップもしたいので、そこの兼ね合いもあります。やはり海外でも通用するためのスキルは最低限身につけておきたいと思っています。

また、人材不足ではありますが、それこそ私の強みである、周りのコミュニティを活かしながら、アウトソーシングでいろんな事業をやっていきたいです。会社として利益が出始めたら、雇用を生み出したいですね。それでもあと1-2年くらいは土台をつくるために1人でやっていこうかなと思っています。

## KISYABAREE 団体概要

### <活動内容>

民間や行政の様々な主体とコラボして、地域開発事業、人材育成事業、不動産事業、コンサルティング事業などを手掛けている。

### <今後の展望>

社会課題解決のプロジェクトごとに、最適なチームを組んで業務を遂行できるような意識を持って活動している。なるべく若い世代にチャンスを持ってもらいたいし、高齢者にもまちを舞台に活躍できるようなプロジェクトをつくっていきたい。

### <課題への取り組み>

人材不足とはいっても、人はまちにいる。まちや人、そして社会課題にも興味を持ってもらうための仕掛け方に知恵が必要だと思っている。おもしろくないと人は興味持たないし、続かない！

- ▷名称：株式会社KISYABAREE(キシャバリー)
- ▷代表者名：須部 貴之
- ▷会員数：1人
- ▷主な事業：地域開発事業、人材育成事業、不動産事業、コンサルティング事業
- ▷連絡先：(TEL) 090-6157-3508  
(MAIL) [kisyabaree@gmail.com](mailto:kisyabaree@gmail.com)

